

20年の歴史を積み重ねて、私たちは今…

平成24年10月20日(土) 18:30からレンブラントホテル大分で、コミュニケーション学科・情報コミュニケーション学科(平成15年改称) 20周年記念同窓会を開催しました。

第1期から第18期生まで50名の卒業生が出席しました。手作りの大くす玉&垂れ幕で開幕、開設当時の学外研修や地域活動などの学科紹介DVD、ミュージカルDVDが流れ、教職員や卒業生からのコメントや近況報告が行われました。

参加したみなさんは、全員昔に返って当時の思い出話に花を咲かせました。今回を期に同窓会生活活動を活性化させたいと思います。

平成21年度から23年度の3年間、情報コミュニケーション学科を中心に全学を対象とした『体験をスキルに変えるナラティブ能力育成—サービスラーニングを中心とした自己の物語を探し創り発信する能力の形成プログラム』(以下、「ナラティブ能力プログラム」とします)が、大学教育推進プログラムに選定され、文部科学省による財政的支援をもとで、取り組みの充実と情報発信を行いました。平成23年度で文部科学省の支援は終わりましたが、引き続きこの取組は大学独自のプログラムとして実施しています。



創立20周年記念同窓会



津和野長期インターンシップ学生を招いて「竹田芸文短大フェイスブック情報発信フォーラム」を実施しました。

竹田は水害を受け豊肥線の不通や57号線の規制など厳しい状況です。また水害報道で客足も減っています。そこで元気な竹田を情報発信しようと、9月29日(土)、若者の情報発信力を竹田のまちおこしに役立てようという「竹田芸文短大フェイスブック情報発信フォーラム」を実施しました。

フェイスブックの作法や使い方の説明を行い、商店街の取材に出発しました。特色ある商店を取材し、直接スマートフォンなどでフェイスブックを使って情報発信したり、デジカメで撮影したのち、パソコンから編集して発信しました。

このときのフェイスブックなどの記事をもとに、大学に帰ってホームページ「たけたみつめた」に掲載しました。
<http://cis.oita-pjc.ac.jp/taketa/index.html>

この日は島根県の津和野役場で1年間長期インターンシップに取り組み、津和野高校の学生確保などのまちおこしに取り組んでいる福井健さんと呼び、津和野の状況やまちおこしなどの話を聞きました。フェイスブックを使って、他の大学の学生にも参加を呼びかけ、APUアジア太平洋大学から5名、下関市立大学から1名の学生が参加し、本学の19名の学生と、交流と情報発信を行いました。“フォーラム”とは古代ローマの広場で市民たちがいろいろな問題について討論した場のこと。今回の取り組みは、お互いに情報を発信し交流する刺激的な一日になったのではないかと思います。

制作・更新中のホームページのコンセプトは、竹田市のみなさんの「当たり前」は私達には「初めて」。私たちが“発見”し“発信”していくことです。

今後は、ホームページのデザインも本学美術科の松本先生と西口先生の指導の元、美術科学生たちと一緒に少しずつ改良していきます。



情報コミュニケーション学科は2012年創立20周年を迎えました

12月19日(水) 18:30から大分市iichiko音の泉ホールで、創作音楽劇「未完成 ～シューベルトの生涯～」を他学科と協力して上演しました。31歳でその短い生涯を閉じた天才作曲家の愛と苦悩の人生を生演奏を交えながら2時間にまとめ、多くの観客から、高い評価をいただきました。

本作は、「嵐が丘」「ロミオとジュリエット」「アマテウス」「ラファエロ」「浪漫の曳航～ショパン・サンド・ドラクロワ～」に続く第6作として、芸術系と人文系の学科を併せ持つ本学の特徴を活かし、演じる側も観客も改めて偉人の生涯を知ることが目的に制作、それぞれの学科の学生に専攻科生、卒業生、教員の協力も得て、完成したものです。大道具や衣装の制作、舞台裏での連絡等を通じて、学科を越えた交流も深まり、全員の熱意が観客にも伝わったようです。共通教育の講義として実施されているこのプロジェクトは、一人ひとりの努力の成果が観客の反応としてダイレクトに返ってきます。100名以上の人たちが、一つの作品を作り上げる喜びが実感できるものとして、来年度は、大分が生んだ大作曲家滝廉太郎の生涯に挑戦、より多くの観客を集められるよう努力します。



創作音楽劇「未完成 ～シューベルトの生涯～」



大道具や衣装の制作、舞台裏での連絡等を通じて、学科を越えた交流も深まり、全員の熱意が観客にも伝わったようです。共通教育の講義として実施されているこのプロジェクトは、一人ひとりの努力の成果が観客の反応としてダイレクトに返ってきます。100名以上の人たちが、一つの作品を作り上げる喜びが実感できるものとして、来年度は、大分が生んだ大作曲家滝廉太郎の生涯に挑戦、より多くの観客を集められるよう努力します。



11月4日に大分市ガレリア竹町で開かれた「まちなか ども職業体験 おおいた わくわくワークランド」にボランティアスタッフとして参加。未来を担う子どもたちに夢を与えるプロジェクトに参加して、自分たちの夢も広げることができました。



新たな未来へ、更に大きく羽ばたきます！